

令和7年5月23日
子ども・若者部
保 育 課
保育認定・調整課

令和7年度保育待機児童等の状況について

1 主旨

区では、令和7年4月入園に向けて、入園一次選考の非内定者の多い地域及び年齢を中心に、二次選考に向けた更なる保育待機児童対策を実施したが、保育需給の地域偏在等もあり、保育待機児童が生じたため、今後の取組みとともに報告する。

2 保育待機児童の状況

保育事業・施設		定員数(人)	前年比	施設数(ヵ所)	前年比
		20,762	22	325(361)	△2(1)
内 訳	区立保育園	4,486	△27	44(45)	0
	私立保育園	13,892	74	173(208)	2(5)
	認定こども園	631	0	7	0
	家庭的保育事業	45	0	9	0
	小規模保育事業	272	△20	17	△1
	事業所内保育事業（地域枠）	14	0	1	0
	居宅訪問型保育事業	14	0	2	0
	保育室	29	0	1	0
	保育ママ	11	△8	3	△2
	認証保育所	1,003	△26	31	△1
	企業主導型保育事業（地域枠）	305	26	37	0
	定期利用保育枠	60	3		
保育待機児童数			47		△11

※施設数の（ ）は分園を含めた数

3 保育待機児童算出の内訳

	内 容	人 数	前年比
①	4月1日現在、保育の必要性の認定がされ、特定教育・保育施設(認定こども園の幼稚園機能部分及び幼稚園を除く)または特定地域型保育事業申込者で、まだ入園できない区民の児童数(転園申込者は除く)	1,326	△39
②	入園申込の時点で、「育児休業の延長も許容できる」を選択した世帯(児童)数※	495	△106
③	育児休業中の保護者で保育所等に入所できたときに復職することを確認できなかった世帯(児童)数※	113	11
④	保育室で保育を受けている児童数※	4	1
⑤	保育ママで保育を受けている児童数※	4	1
⑥	認証保育所で保育を受けている児童数※	145	52
⑦	幼稚園の預かり保育を受けている児童数※	30	7
⑧	定期利用保育事業を利用している児童数※	29	△3
⑨	自宅から30分未満(半径2km以内)で登園可能な距離の特定教育・保育施設等に空きがありながら入所出来ていない児童数※	331	17
⑩	求職活動を休止していることの確認ができた世帯数※	7	△1
⑪	保育料補助対象施設である無認可保育施設の利用者数※	19	△4
⑫	企業主導型保育事業で保育を受けている児童数※	102	△3
	① - (②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫) = 待機児童数	47	△11

※②～⑫の各人数は、①の対象児童の中で該当する児童数のみ記載

4 保育事業・施設の定員数、施設数と保育待機児童数の推移

		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
		定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	前年比	施設数	前年比
保育事業・施設		20,673	333 (364)	20,852	335 (368)	20,923	335 (368)	20,740	327 (360)	20,762	22	325 (361)	△2 1
特定教育・保育施設		18,537	214	18,878	221	19,012	223	18,962	222	19,009	47	224	2
内訳	区立保育園	4,633	45 (46)	4,584	45 (46)	4,559	45 (46)	4,513	44 (45)	4,486	△27	44 (45)	0 0
	私立保育園	13,346	162 (192)	13,693	169 (201)	13,852	171 (203)	13,818	171 (203)	13,892	74	173 (208)	2 5
	認定こども園	558	7	601	7	601	7	631	7	631	0	7	0
地域型保育事業		367	31	364	31	369	31	365	30	345	△20	29	△1
内訳	家庭的保育事業	50	10	50	10	50	10	45	9	45	0	9	0
	小規模保育事業	292	18	292	18	291	18	292	18	272	△20	17	△1
	事業所内保育事業(地域枠)	14	1	14	1	14	1	14	1	14	0	1	0
	居宅訪問型保育事業	11	2	8	2	14	2	14	2	14	0	2	0
認可外保育施設		1,769	88	1,610	83	1,542	81	1,413	75	1,408	△5	72	△3
内訳	保育室	55	2	29	1	29	1	29	1	29	0	1	0
	保育ママ	29	7	24	6	24	6	19	5	11	△8	3	△2
	認証保育所	1,344	43	1,182	37	1,115	35	1,029	32	1,003	△26	31	△1
	企業主導型保育事業(地域枠)	312	36	338	39	327	39	279	37	305	26	37	0
	定期利用保育枠	29	/	37	/	47	/	57	/	60	3	/	/
保育待機児童数		0		0		10		58		47			

※施設数の（ ）は分園を含めた数

5 保育待機児童数の地域別・年齢別内訳

〔令和6年度〕

(人)

地域	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
世田谷	—	—	—	—	—	—
北沢	—	—	—	—	—	—
玉川	—	—	—	—	—	—
砧	—	26	19	—	—	—
烏山	—	13	—	—	—	—
計	—	39	19	—	—	—

〔令和7年度〕

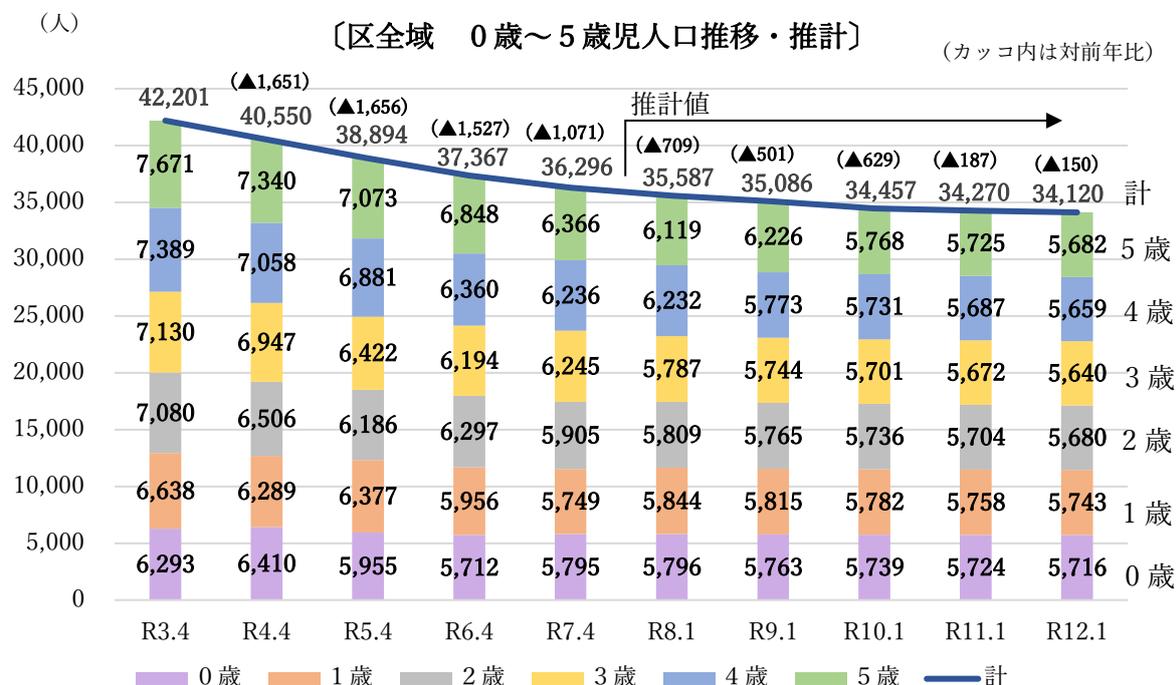
(人)

地域	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
世田谷	—	9	—	—	—	—
北沢	—	1	—	—	—	—
玉川	—	10	—	—	—	—
砧	—	23	—	—	—	—
烏山	—	—	4	—	—	—
計	—	43	4	—	—	—

6 保育を取り巻く現状

(1) 就学前人口の推移と今後の推計

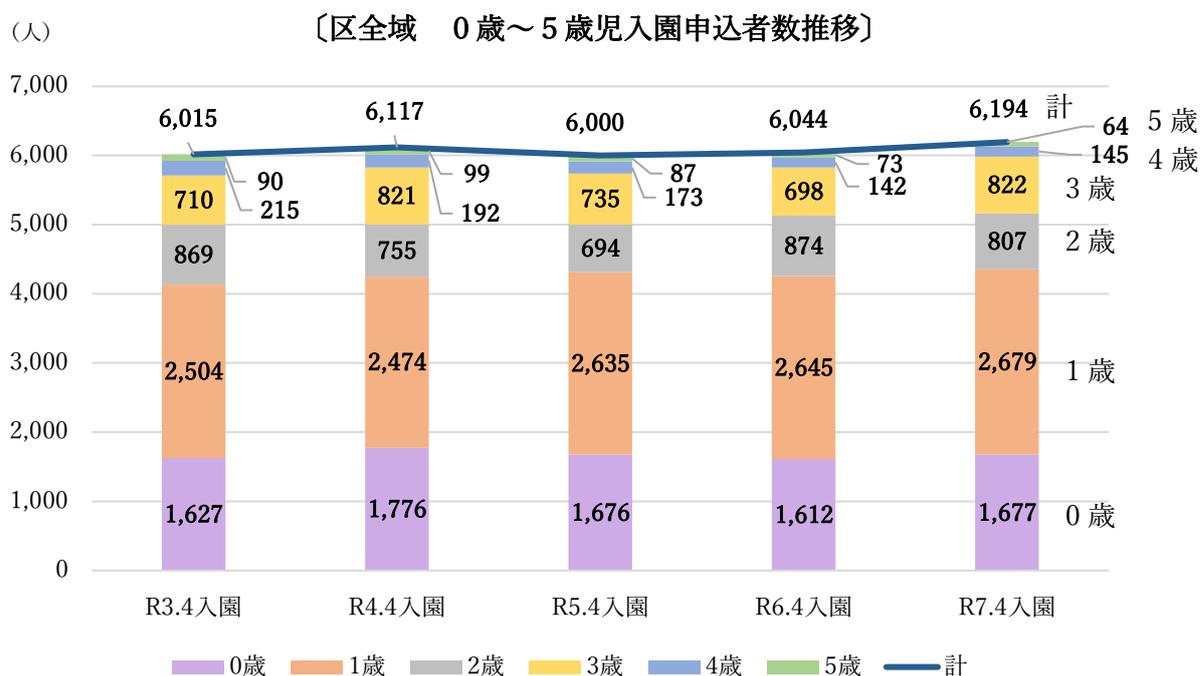
世田谷区における就学前人口（0歳～5歳）は、平成31年から減少に転じており、世田谷区将来人口推計によると今後も減少が見込まれている。



(2) 入園申込者数の推移

令和7年4月入園の入園申込者数は、就学前人口が減少している状況においても、前年と比べ150人増加した。

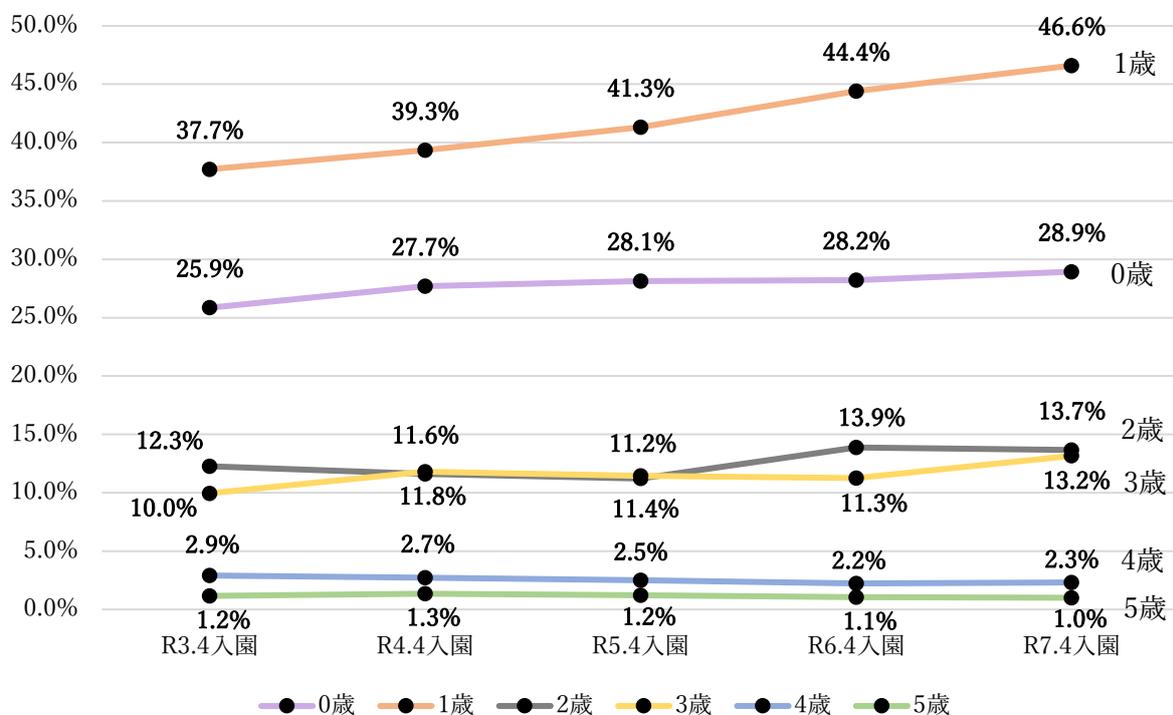
前年と比較すると、3歳児が124人増加、0歳児が65人増加、1歳児が34人増加する一方、2歳児は67人減少した。



(3) 入園申込率の推移

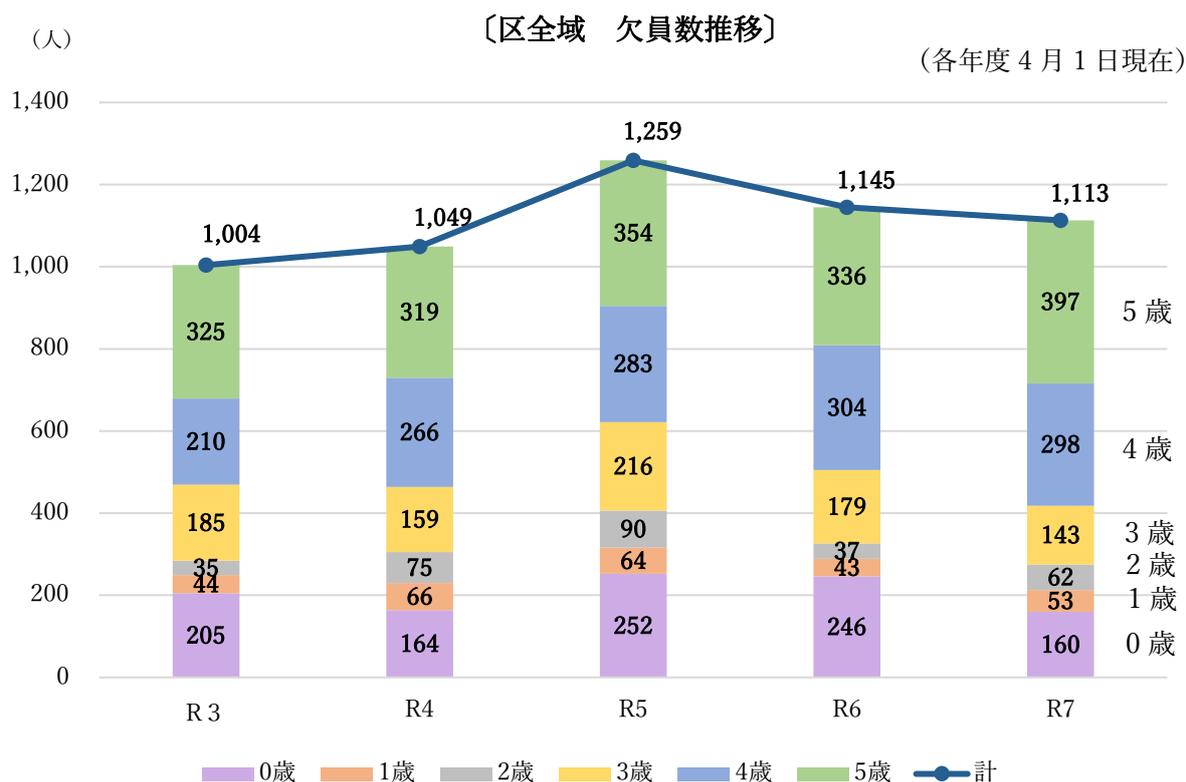
入園申込者数を人口で除した令和7年4月の各年齢の入園申込率を前年と比較すると、区全域では1歳児が2.2%、3歳児が1.9%増加している。

〔区全域 0歳～5歳児入園申込率推移〕



(4) 欠員数の推移

区立・私立認可保育園の区全域の欠員数は、過去最大となった令和5年度から減少傾向にあるが、5歳児の欠員数が大幅に増加している。



(5) 保育待機児童の状況と傾向

- ・令和7年4月の保育待機児童が生じた背景の一つとして、入園申込の時点で、「育児休業の延長も許容できる」を選択した世帯(児童)数が前年と比較して大幅に減少したことがあげられる。これは令和7年4月から保育所等に入れなかったことを理由とする育児休業給付金の支給対象期間延長手続きの変更が行われたことによる影響があったものと想定している。今後、他自治体でも同様の影響が生じているか、また、今後も同様の影響が継続するかなど、影響の度合の分析を進める。
- ・過去の実績や現在の社会状況を踏まえ、保育の利用意向率が今後も増加することを見込んでいたが、地域によって見込みより利用意向率が高まっている状況が見受けられる。利用意向率の動向の分析を行う。
- ・令和7年4月入園一次選考結果を踏まえ、二次選考に向けた更なる保育待機児童対策として、定員の弾力化や定期利用保育の実施に向けた調整を進めた結果、1歳児から3歳児で合計89名の定員の確保を行った。一方、保育人材の不足により計画していた定員を確保できていない状況も発生している。

7 今後の取組みについて

- ・保育の需要量と確保量は、世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）に内包する子ども・子育て支援事業計画にて令和11年度までの見込みを示すとともに、状況の変更等を踏まえ、毎年見直しを実施するとしている。令和7年度の保育待機児童の状況を踏まえ、保育の需要量と確保量の再推計を行っていく。
- ・令和8年4月入園に向けては玉川地域に私立認可保育園2園の新規整備及び砧地域における認証保育所から認可保育所への移行による定員拡充を予定している。今後の再推計を踏まえ、更なる取組みや令和9年4月入園に向けた新規保育園の整備も含め早急に対策を検討する。
- ・令和7年4月入園に向けた緊急対策の取組みとして、既存保育施設の弾力化等による定員の拡充を図ったが、令和8年4月入園に向けて引き続き取組みを継続する。保育待機児童が新たに発生した世田谷地域や北沢地域も加えた区内全地域において、区立保育園の弾力化の更なる拡充を検討するとともに、私立保育園への定員の拡充を依頼する。
- ・統合に向けた定員調整を行う区立保育園においては、令和8年4月に向けて職員体制を踏まえた上で、定期利用保育の拡充を図る。